

人と人・学びと学びを
つなぎ 結ぶ



第49号
発行
令和2年7月10日
羅臼町教育委員会
羅臼町栄町 87-2129

よ う こ そ 羅 臼 へ

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止で、今まで誰も経験したことのない異例のスタートとなりました。

新型コロナウイルスの影響が一日も早く終わってほしいものです。

今年度も多くの先生方が羅臼に来てくれました。

羅臼に早く慣れ、羅臼の良さをたくさん知って欲しいです。

羅臼小学校	教諭	中 村	唯 雪（新採用）
栄養教諭	関 川	彩 乃（新採用）	
春松小学校	教諭	田 中	美 沙（標津町立標津小学校より）
教諭	佐 藤	裕 崇（新採用）	
養護教諭	佐 藤	茉理絵（新採用）	
学校司書	加 我	美沙子（新採用）	
事務	五ノ井	智 也（別海町立別海中央小学校より）	
知床未来中学校	校長	滝 後	泰 英（中標津町立中標津中学校より）
教諭	寺 川	藤 島	人 界（根室市立光洋中学校より）
	遠 藤	村 理	子 二（中標津町立広陵中学校より）
	大 井	奏 樹（新採用）	
事務	林	英 樹（羅臼町立春松小学校より）	
羅臼高等学校	教頭	嶽 山	敏 嗣（釧路商業高校より）
教諭	中 山	子 恵	大 未（北海道釧路江南高校より）
	丸 鎌	田 豪	（宮城県加美農業高等学校より）
	小 林	俊 樹（新採用）	
	佐 藤	将 弘（北海道旭川北高等学校より）	
養護教諭	北 川	萌 香（新採用）	
事務	北	優 紀（新採用）	
春松幼稚園	教諭	藤 本	ころ（新採用）

よろしくお願いいたします。

羅臼町幼小中高の教育 企画編

幼稚園・小学校・中学校・高校の令和2年度の取り組み

令和2年度 羅臼幼稚園の教育

【企画編】

幼稚園教育目標（目指す子ども像）

心身ともに健やかで、心豊かでたくましく生きる子どもの育成

げんきな子 ～ 心も体も健康で明るく生き生きと活動する子

やさしい子 ～ 情操豊かで、身近なものを大切にする子

がんばる子 ～ 物事に進んで取り組み、粘り強くやり抜く子

今年度の重点

- ・自己発揮しながら夢中になって遊ぶことでの育成
- ・一人一人の成長を支えるための保育の推進
- ・地域に親しみを感じたり、人との関わりを楽しんだりする子どもの育成

幼児の主体性を支える

- ・幼児の興味・関心に沿った遊びや、幼児の思いが実現できるような遊びが展開されるような環境の工夫をする。
- ・友達と関わる中で、互いの思いや考えを共有し、共通の目的に向かって力を出し合うなど、協同して活動することの楽しさが味わえるよう取り組む。

遊びの中で学びに向かう力を育む

- ・幼児が夢中になって遊ぶ姿から、何を感じ、何を学んでいるかを理解し、学びの過程を大切にする。
- ・自分の思いや考えを表現し、伝え合ったり、考えを出し合ったり、協力したりして自らの考えを広げ深める「対話的な学び」の姿の実現を目指す。

温かい人間関係を育む

- ・地域の人に親しみを感じたり、人とのかかわりを楽しんだりする幼児の育成を目指す。
- ・地元の産業に興味・関心をもち、自分達の住んでいる羅臼の環境を守ろうとする気持ちを育む。



令和2年度 春松幼稚園の教育

【企画編】

今年度は『深い学びを目指して』とし、見方・考え方を働かせて、試行錯誤を繰り返し、活動を進めていこうとする幼児を目指します。

【教育目標】心身ともに健やかで、心豊かでたくましく生きる子どもの育成
げんきな子・やさしい子・がんばる子



【目指す子ども像】

試行錯誤を繰り返し、活動を進めていこうとする子ども

『深い学びを目指して』

～一人一人の体験に目を向けることを通して～

教育 ICT 活用



- ICT 機器を使い、その日の遊びの場面の写真や映像を幼児たちが一緒に観ながら遊びを振り返り、新たな気付きや意欲につながるようにしていく。また、生活の中で幼児が深く知りたいと思ったことを調べたり、興味、関心がより高められるよう活用していく。
- 幼児理解の共有や幼児の育ちの研修の際に、ICT を活用し職員研修を深めていく。



「出会い」「つながり」「広がり」

・幼児が対象と「出会い」、そこでの心を動かされる体験や獲得した知識・スキルが次の体験へと「つながり」「広がり」をみせるという「深い学び」をしっかりと読み取っていく。

- 一人一人の幼児の体験を理解
- 体験を共有、共感
- 興味や関心を追求できるような環境構成と援助
- 学びを更に深めたり、発展させたりできるような環境構成と援助



家庭・小学校・地域との連携



- 保護者の視点で考え、開かれた園を目指す。
- 海洋教育の活動を含め、幼児の活動をブログ、ドキュメンテーション等、様々な形で情報発信していく。
- 幼児期の教育を通して身に付けたことを生かしながら小学校以降の学びに繋がるように円滑な接続を図っていく。



令和2年度 羅臼町立羅臼小学校の教育 《企画編》



本校の学校教育目標

ふるさと羅臼を愛し、未来を担う、人として豊かな心と確かな力を身につけた児童の育成

校訓

明るく強い子ども
創造性豊かな子ども
勤労を尊ぶ子ども

学校経営の重点

繋がりを生かし子どもの成長が「実感」できる丁寧な教育を目指す

羅臼小学校 学びの視点

学力の向上

- 基礎学力の定着
 - 算数における TT の授業や習熟度別の授業の実施
 - 高学年専科授業の実施（理科、音楽、家庭科、英語・外国語活動）
 - おき勉による主体的な家庭学習の取組
 - 通級指導教室の効果的な活動
 - PC教室を活用した放課後学習
 - 土曜授業の実施
- 読書活動の充実
 - 朝の読書活動
 - 「こぐまちゃん」サークルによる読み聞かせ
- 各種検査・調査の分析と改善プランの立案・実施

基本的な生活習慣の定着

- いい顔 いい声 いい動き
 - 児童：いい顔いい声いい動き発見カード
 - 思いやりの標語運動
- 異年齢集団
 - たてわり活動（清掃活動など）
 - 委員会・クラブ活動
- 生活アンケート
 - 集計・分析し、保護者への公表と改善

健康・安全教育の充実

- 食育の推進
 - 給食指導、フッ化物洗口、歯科指導、肥満指導
 - 栄養教諭による食に関する指導
- 生と性の学習
 - ジェンダー教育の推進
- 体力の向上
 - スポラタイムの改善充実・活用による体力の向上
 - COT の改善・活用による体力の向上
- 早寝・早起き・朝ごはん運動の推進
 - 生活リズムチェックシートの活用
- 防災教育の充実
 - 火災・地震・津波対応の訓練
 - 1日防災教室の実施
- 安全意識の醸成
 - 交通安全教室、子ども 110 番の家訪問
 - 「安心・安全メール」の活用

外国語科(活動)・総合的な学習の時間の充実

- 外国語科(活動)
 - A L T の活用
 - 教材の工夫と評価等の実践研究
 - 全学年での実施
- ふるさと学習
 - 地域素材・人材・施設の活用
 - 「学びの連続」
羅臼幼稚園・未来中学校との連携
 - 知床学（海洋教育）の推進
 - 北方領土学習の充実
- 情報教育
 - I C T の活用
 - 情報モラル・マナーの指導体制整備
 - プログラミング教育の実践研究
- ユネスコスクール活動

令和2年度 春松小学校の教育【企画編】

学校の教育目標

ふるさとに誇りをもち、進んでかかわる子

目指す子供像

- ・元気な子 ⇒ 心と体の調和を目指し、自ら食・運動・生活習慣を整える姿
- ・考える子 ⇒ 学びの喜びと価値を実感し、目標をもってまなび、行動する姿
羅臼の良さを知り、守り、発展に寄与しようとする姿
- ・〇〇合う子 ⇒ 自他の良さを認め合い、磨き合い、高め合う姿

	低学年	中学年	高学年
元気な子	①協力して掃除をする ②元気に遊べる ③元気に挨拶・返事ができる ④生活習慣のきまりを守る	①役割を意識して掃除をする ②みんなと遊べる ③丁寧な言葉で挨拶・返事ができる ④心と体の健康と生活習慣のつながりを意識する	①環境美化を意識して行動する ②進んで体力づくりをする ③時と場・相手に応じた挨拶・言葉遣いができる ④心と体の調和を目指し、自ら食・運動・生活習慣を整える
考える子	①学ぶ楽しさを知り、進んで学ぶ ②やりたいこと・やるべきことを決めて取り組む ③身近な自然や文化に慣れ親しむ	①問いや思いをもちながら主体的に学ぶ ②役割を見つけ、目標をもって最後まで取り組む ③羅臼のよさを知り、発信しようとする	①学びの喜びと価値を実感し、目標をもって学ぶ ②生き方・在り方を考え、目標をもって行動する ③羅臼のよさを知り、守り、発展に寄与しようとする
〇〇合う子	①助け合い・励まし合う ②集団生活のよさを知り、助け合い、励まし合う	①認め合い・教え合う ②自他の違いを認め合い、教え合う	①磨き合い・高め合う ②自他のよさを認め合い、高め合う

今年度のテーマ 自分の思いを伝えあう

「自分の思いを伝え合う力」を育むために～発達段階に応じて目指す姿

	低学年	中学年	高学年
聞く	・最後まで ・体を向けて ・手遊びをしないで ・うなずきながら	・話している人を見て ・手遊びをしないで ・うなずきながら ・自分の考えと比べながら	・話している人を見て ・うなずきながら ・相手の意図を意識して ・必要な時はメモをして ・共通点や相違点を整理して
話す	・最後まで ・大きな声で ・順序よく ・体を向けて	・大きな声で ・順序よく ・体を向けて ・大事なことをまとめて	・意見をはっきりさせて ・話している人に体を向けて ・場に応じた話し方で ・相手に応じた言葉遣いで

令和2年度

羅臼町立知床未来中学校《企画編》



【校訓】

「ふるさとに生き、未来を拓く」

◇目指す生徒像◇ 「自分やふるさととの未来を創る生徒」

- ① 意欲を持ち自ら学び、羅臼の海のように深く考え課題を解決していく生徒
- ② 羅臼を流れる川のように清らかな心を持ち、よりよい人間関係を築いていく生徒
- ③ 羅臼岳のように健やかでたくましい体力と精神力を身につけていく生徒

【今年度の重点】

ノート指導に
力を入れます

1. 主体的に課題を解決するための資質・能力の育成

(1) 生徒が主人公の主体的・対話的で深い学びに導く授業改善
課題解決的な学習の展開を通じた3つの資質・能力の形成

- ①知識及び技能の習得
- ②思考力、判断力、表現力等の育成
- ③学びに向かう力、人間性等の涵養

(2) 生徒指導の3機能を生かした授業改善

(3) 社会的・職業的自立をめざすキャリア教育の充実

2. 豊かな心と望ましい人間関係の醸成

(1) 学習活動や学校生活の基盤となる生徒指導の充実

(2) 豊かな心を育む風土の醸成

3. 健やかな心とたくましい体の育成

(1) 粘り強く挑戦し、進んで体を鍛える取組の充実

知床未来中ノートのきまり

- ・丁寧な字で書こう
- ・日付・曜日を書こう
- ・課題は大きめに書こう
- ・重要な内容は色分けして書こう
(カラフルになり過ぎない)
- ・左端にページ数や問題番号を書こう
- ・先生の発言や友達の意見、自分の考えを書こう
- ・まとめをしっかりと書こう



ふるさととの未来をつくる地域を学ぶ学習

クマ学習

魚市場見学

新型コロナウイルスの感染予防のために以下の授業を2学期に延期しています。写真は昨年のもので。



クルージング体験

北海道羅臼高等学校の教育【企画編】

校 訓

「知床の自然のごとく厳しく美しく
羅臼岳の如く悠然と」



校 章

知床半島に生息している尾白
鷺が大空を飛翔する姿に、校歌
に託された『からだつよく、こ
ころさえぞえ』の理念を示す

高等学校OPENプロジェクト（北海道教育委員会指定事業）

を実施しています（H30～R2）

期待される成果

高校生のうちに地元地域を知ることにより、地元への定着やUターンが促進される。

地域の活動に高校生が参画することにより、地域活力の向上へ貢献。

具体的な取組

地域課題の解決等を通じた学習を、町教委をはじめとする各関係機関と協働し、各教科・科目や学校設定科目等において体系的に実施し、地域ならではの新しい価値を創造する人材を育成します。

地域の特性や教育資源を生かしたキャリア教育

ふるさと羅臼町の課題理解・解決への手立て

自己表現コミュニケーションの向上

地域人材による教育講演会

インターシップの実施

町内各種行事への参加



さまざまな自然環境科目群

ふるさと高校生議会の開催

地域産業の実態把握に向けた調査

ボランティア活動の参加・実施

地域の理解を深め、知床羅臼のためにできることを考察し、提案・実践できる力を養うとともに、自己実現に向けたキャリア教育の充実を図ります。

コロナに負けない！！

令和2年度開始早々、新型コロナウイルス感染拡大防止のため幼稚園、小学校、中学校、高校は、5月いっぱいまでの臨時休業となりました。

お子さん方も、この長期の休みで日常生活習慣が、十分ではなかったところがあったのではないのでしょうか。特に、入園・入学したばかりのお子さんは、園や学校に慣れる前に休みになってしまいました。

6月から再開し、そろそろリズム良く過ごせているのではないのでしょうか。

この休みの影響で、園・学校は様々な行事や夏・冬休みの日程を検討し直しました。

園・学校は、その学年でしっかりと学ぶことが決められています。その時間を確保するために下記のように考えています。

今後の状況によっては、変更もありえます。あくまで現時点での予定です。

※幼稚園・小学校・中学校・高等学校

【夏休み】

当初予定 7月23日（木）～ 8月16日（日）

終業式～7月22日（水） 始業式～8月17日（月）

変更後 8月 1日（土）～ 8月16日（日）：9日間短縮

終業式～7月31日（金） 始業式～ 17日（月）

※学校閉庁日 8月12日（水）・13日（木）・14日（金） 幼稚園：8月14日（金）

【冬休み】

当初予定 12月24日（木）～ 1月14日（木）

終業式～12月23日（水） 始業式～1月15日（金）

変更後 12月29日（火）～ 1月11日（月）

終業式～12月28日（月） 始業式～1月12日（火）

※小学校・中学校

【運動会・体育祭】&【学習発表会・学芸会・文化祭】～ 中止

『新型コロナウイルス感染症予防対策学校での対応』

今学校では、コロナウイルス感染予防のために以下のことを実践しています。

- 児童生徒及び教職員の毎朝の検温、風邪症状等の確認
- マスクの着用 ○教室内での児童生徒間の適切な距離の確保
- 手洗いやうがいの徹底
- 教室に入るときの消毒
- 教室や校舎内の消毒
- 教職員の給食配膳（幼・小学校）

☆不明な点がありましたら各学
にご連絡をお願いいたします。